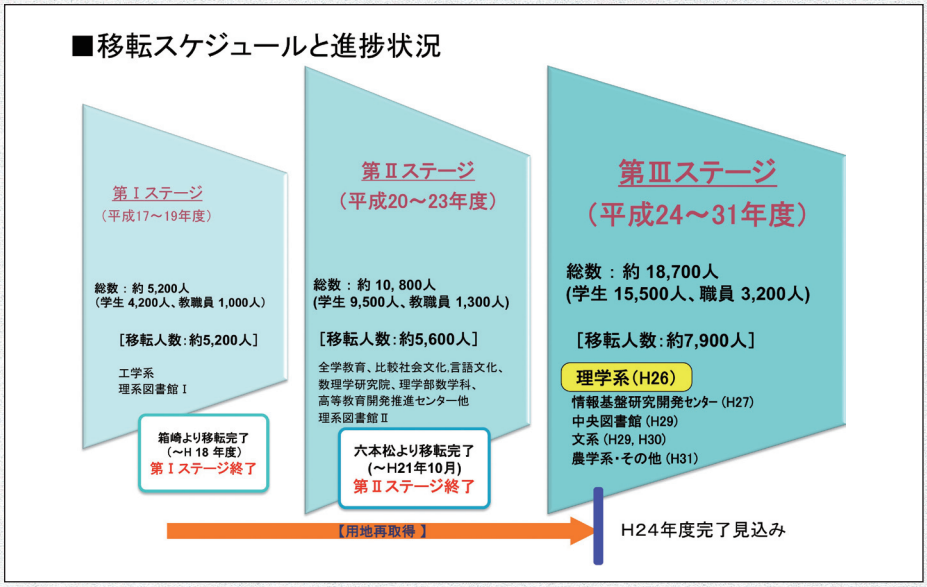
九州大学の統合移転事業について

本学の伊都キャンパスの統合移転事業については、平成21年度に全学教育等の移転が完了し、第Ⅱステージが終了しました。

移転はこれから第Ⅲステージに入りますが、このたびの平成24年度の文部科学省の概算要求において、伊都キャンパスの未取得用地の購入費については計上されたものの、第Ⅲステージの当初に予定している理学系の施設設備費の計上が見送られることとなりました。このため、平成26年度に予定していた理学部、理学府等の移転が遅れることとなりました。

このたびの措置は、東日本大震災からの復興への対応や、箱崎キャンパス等の跡地利用の見通しが明らかになっていないことなどが主な理由とされています。

本学は今後、箱崎キャンパス等の跡地の利用計画の具体化に向けて取り組むとともに、引き続き国に対して予算の要望を行うなど、移転の早期実現に向けて努力を続けていきます。



ようこそ九州大学へ

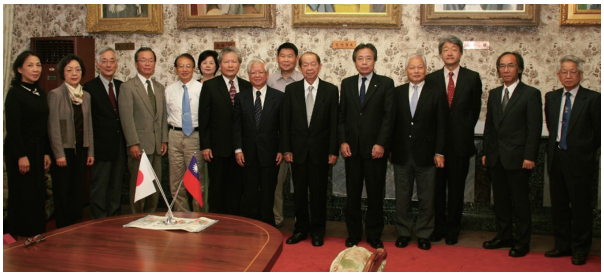
welcome to Kyushu University

台湾　許文龍氏

平成23年10月6日(木)、台湾の奇美実業創始者許文龍氏ほか9名が、有川総長を表敬訪問しました。

昨年3月に、本学マンドリンクラブと奇美実業マンドリンオーケストラの合同演奏会が台湾で行われ、許氏がこの演奏会で感激されたことが発端となり、本学のマンドリンクラブＯＢからお声かけし、今回の訪問が実現したものです。

許氏は、日本と台湾の関係は地理的・歴史的にもきわめて重要で、経済や文化同様に学生の交流も密にしていくべきであること、また、何事にも理論だけでなく、実務が大事であることなどを日本語で熱心に話され、有意義な懇談が行われました。

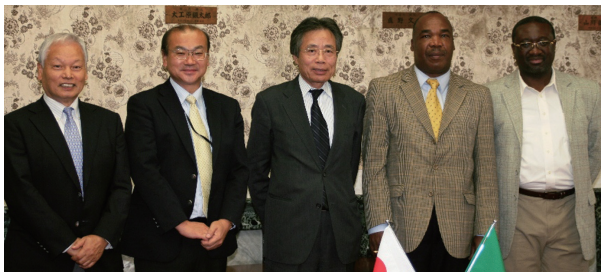

右から６人目が許文龍氏

ザンビア大学学長

平成23年10月11日(火)、東京の国連大学で開催されるＥＳＤプログラム国際シンポジウムに出席のため来日中のザンビア大学学長ステファン・シムカンガ学長と、同大学のジェウェット・マシンジャ博士が有川総長を表敬訪問しました。

ザンビア大学鉱山学部と本学工学部は部局間交流協定を締結しており、本学工学研究院の佐々木久郎教授が共同研究を行っています。

今回の訪問では、農作物学や情報科学等の重点分野における人材育成を目的とした学術交流等について意見交換が行われました。


右から２人目がステファン・シムカンガ学長